

ヒアリング審査 評価項目及び審査基準

評価項目	評価内容	評点 (x)	重み (w)	配点 (w*x)
1 機能	①システムの使用感 実際にシステムを使用するにあたり、直感的で見やすく、レスポンスも十分に早く、円滑かつ容易に目的の操作を行える仕様であるか。	5	×3	15
	②各種帳票の拡張性、カスタマイズ性 各種帳票の様式について、レイアウトの調整や表示項目の選択等の機能を備えているか。 また、外字について、異動や転入時に柔軟に対応可能か。	5	×3	15
	③保護者連絡機能の充実度 欠席・遅刻連絡の自動取得や児童生徒情報の共有等、校務支援システムと十分に連携が取れているか。 配信の範囲（個別、一斉、グループ）指定やアンケート回収、多言語機能、帳票配信といった拡張的な機能を備えているか。 また、デジタルに不慣れな保護者等でも直感的に使用できるか。	5	×2	10
	④セキュリティ体制 多要素認証やSSO、アクセス制限、データ通信、アプリケーションの防御対策、データセンターの安全対策等において、十分な対策がなされているか。	5	×1	5
2 実施体制	⑤プロジェクト管理体制 必要な専門的知見や経験等を有する人員が十分に確保され、進捗・品質管理や関係者（回線事業者等）との連携が適切に行える体制であるか。	5	×2	10
3 業務計画	⑥将来的な環境の変化に対する対応力 令和9年度に実施予定の校務系端末の更新（MacOS、ChromeOS 又は iPadOS を想定）に対し、費用を要せず円滑かつ確実に移行可能か。 また、同年度に予定している学校の統廃	5	×2	10

評価項目	評価内容	評点 (x)	重み (w)	配点 (w*x)
	合に対し、学校運営に支障をきたすことなく円滑に対応可能か。			
	⑦データ移行 現在の体制におけるデータを円滑かつ確実に移行可能か。また、データの準備等において、学校現場への負担に配慮した内容となっているか。 特に、システム未導入である中学校に係るデータ移行について、現実的な提案であるか。	5	×2	10
4 運用支援	⑧研修及びマニュアルについて 教職員の理解度を十分に高め、円滑にシステムを使用できる研修内容か。また、マニュアルは分かり易い内容か。	5	×2	10
5 創意工夫	⑨独自性や工夫点 本業務の履行にあたり、独自のアイデアや工夫が含まれているか。	5	×2	10
6 実績	⑩類似業務の実績 募集要項に記載の実績を有するか。 件数により評価：評点 = [件数]*1 点（ただし、5 件以上の場合は 5 点とする。）	5	×1	5
合 計		-	-	100

注)

- ・ 評点の範囲は 1 点から 5 点までとし、評点の基準は、優れている：5 点、やや優れている：4 点、普通：3 点、やや劣っている：2 点、劣っている：1 点とする。
- ・ 評価項目ごとの配点は、評点 * 重みで算出し、上表に記載の配点（5 点 * 重み）を最高点とする。